



会社名 J.フロント リテイリング株式会社
 コード番号 3086
 代表者名 代表取締役社長 山本 良一
 お問合せ先 経営戦略統括部
 グループ広報・IR担当
 TEL 03-6895-0178

2013年10月度 J.フロント リテイリング 連結営業報告

1. セグメント別売上高（対前年増減率：％）

	10月度	9～10月度累計
百貨店事業	▲ 3.8 (▲1.6)注2	▲ 2.4 (0.1)注2
パルコ事業	▲ 5.9	▲ 3.1
卸売事業	3.5	1.1
クレジット事業	12.1	9.7
その他事業	▲ 4.7	2.8
連結合計	▲ 11.1	▲ 9.9
(除くスーパーマーケット事業)	▲ 3.5注1	▲ 1.7注1

注1: 2013年3月度からスーパーマーケット事業を除外しました。前年の連結合計からスーパーマーケット事業を除いた10月度の対前年増減率は▲3.5%減、9～10月度累計の対前年増減率は▲1.7%減となります。

注2: 百貨店事業の()内は、大丸ららぽーと横浜店、大丸新長田店(いずれも2013年1月31日営業終了)、松坂屋銀座店(銀座地区再開発・建替えのため2013年6月30日一旦営業終了)を除く既存店ベース。

2. 売上高概況

1) 百貨店事業

- ・10月度の百貨店事業の売上高は、美術宝飾品が大きく売上を伸ばし、ラグジュアリーブランドも堅調であったものの、月初の関西・中部地区を中心とした高気温により秋冬物ファッションの動きが鈍かったことに、台風によるマイナス影響も加わり、大丸松坂屋百貨店合計では対前年▲1.5%減、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同▲1.6%減となった。

2) パルコ事業

- ・身用品、雑貨、サービス、食品・レストランは好調に推移するも、上旬に気温が高めに推移したことや、台風の上陸、接近などにより、アウター、ブーツ、ニットなどを含めた秋冬物ファッションの動きが鈍かったことも加わり、パルコ事業全体では対前年▲5.9%減となった。

3) その他

- ・卸売事業の大丸興業は、包装資材や農水産品が売上を伸ばし対前年3.5%増となった。
- ・クレジット事業のJFRカードは、リボ払いを利用されるお客様の増加や、大丸松坂屋百貨店お客様ゴールドカードのクレジットカード化に伴う手数料収入の大幅な増加などが寄与し、対前年12.1%増となった。
- ・その他事業は、J.フロント建装の前年大型改装工事売上計上の反動減の影響が大きく、対前年マイナスとなった。

お問合せ先	J.フロント リテイリング株式会社	グループ広報・IR担当
	TEL	03-6895-0178
	FAX	03-6674-7565

2013年10月度 百貨店事業 営業報告

1. 売上高および入店客数（対前年増減率：％）

	10月度		9～10月度累計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
大丸 心齋橋店	0.2	▲3.9	2.1	▲3.2
大丸 梅田店	▲9.2	▲10.0	▲8.0	▲8.8
大丸 東京店	▲6.3	▲18.4	▲1.2	▲11.9
大丸 浦和パルコ店	1.4	1.7	2.0	2.5
大丸 京都店	▲3.9	▲6.1	▲1.7	▲4.4
大丸 山科店	▲0.8	▲0.1	▲1.6	▲1.3
大丸 神戸店	▲1.8	▲9.1	0.1	▲7.5
大丸 須磨店	1.4	1.7	1.9	0.6
大丸 芦屋店	▲4.4	▲1.8	1.1	▲0.2
大丸 札幌店	0.5	▲0.7	3.6	0.3
松坂屋 名古屋店	4.9	0.6	5.1	3.8
松坂屋 上野店	▲1.5	▲1.4	▲2.3	▲1.3
松坂屋 静岡店	1.2	▲0.1	▲0.3	▲2.4
松坂屋 高槻店	▲5.4	▲0.8	▲3.0	0.6
松坂屋 豊田店	0.4	1.2	▲2.7	0.5
大丸松坂屋百貨店合計	▲1.5	▲6.9	0.2	▲4.6
博多大丸	0.1	▲1.6	0.5	▲1.7
下関大丸	▲7.2	▲7.1	▲3.3	▲2.9
高知大丸	▲4.8	▲3.4	▲1.9	▲2.9
百貨店事業合計	▲1.6	▲6.5	0.1	▲4.4

(注)・合計は、大丸ららぽーと横浜店、大丸新長田店(いずれも2013年1月31日営業終了)、松坂屋銀座店(銀座地区再開発・建替えのため2013年6月30日一旦営業終了)を除く既存店ベース。

・前年に上記3店舗を含めた10月度の対前年増減率は、大丸松坂屋百貨店合計 ▲4.0%減、百貨店事業合計 ▲3.8%減、9～10月度累計の対前年増減率は、大丸松坂屋百貨店合計 ▲2.6%減、百貨店事業合計 ▲2.4%減となります。

2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高（対前年増減率：％）

	10月度	9～10月度累計
紳士服・洋品	▲5.2	▲2.3
婦人服・洋品	▲4.8	▲1.2
子供服・洋品	5.1	6.7
その他の衣料品	▲3.1	4.9
衣料品計	▲4.3	▲0.8
身回品	▲2.4	▲0.5
化粧品	▲2.3	▲1.9
美術・宝飾・貴金属	29.5	18.6
その他雑貨	1.4	6.9
雑貨計	12.2	8.1
家具	12.0	11.7
家電	▲10.1	▲10.8
その他の家庭用品	▲3.4	▲0.0
家庭用品計	▲0.5	1.9
生鮮	▲2.8	▲1.2
菓子	▲2.4	▲0.2
惣菜	▲3.1	▲1.0
その他食料品	6.5	4.6
食料品計	▲1.1	0.2
食堂・喫茶	▲7.6	▲5.6
サービス	25.8	27.3
その他	▲4.1	▲9.7
合計	▲1.5	0.2

(注)・大丸ららぽーと横浜店、大丸新長田店(いずれも2013年1月31日営業終了)、松坂屋銀座店(銀座地区再開発・建替えのため2013年6月30日一旦営業終了)を除く既存店ベース。

3. 売上高概況

・婦人服・洋品は、ラグジュアリーブランドが好調を持続したが、ジャケット、ニットなど秋物衣料の動きが鈍かった。紳士服・洋品は、スーツの動きは良かったものの、コート、セーターなどシーズン衣料が苦戦した。身回品は、トラベルバッグ、高級紳士靴が好調だったものの、婦人靴、ハンドバッグの動きが悪かった。雑貨は、美術品、時計が大きく売上を伸ばした。食料品は、前年10月に増床・グランドオープンした東京店の反動減により対前年マイナスとなった。